

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 祝町 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
男女どちらも、「朝食を食べる」を100%達成でき、「睡眠時間」も7時間以上確保できている児童が80%実施できている。また、テレビ等の視聴時間は、男女ともに3時間以上が3割、1時間以上3時間未満が4割、1時間未満が3割だった。また、運動関係の習い事に関しては、全体の75%が取り組んでいる。 調査を行い、対象児童は運動により取り組もうとする姿が見られ、外遊びをする児童が増えた。ただ、委員会活動や学級での活動もあり、対象児童が運動場で遊ぶ機会は他の学校より少ない。祝町小学校の実態をとらえ、対象児童だけでなく全児童がより運動習慣がつくよう取り組んでいきたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

どの学年も、担任の工夫や「好きっちゃプログラム」の活用などを活かして取り組んだ。本調査や学校内でのアンケート等で、「体育が楽しい」と答える児童が90%を超えている。また、休み時間は外遊びをする児童が多い。 しかし、詳しく見ると、1～3年生は90%以上が外遊びに行くのに対し、4～6年生は70%程度しか外遊びに行っていないという課題がある。原因として小規模校というのもあり、委員会活動等で休み時間、外で遊べない4～6年生の児童が多いように感じる。また、中休みに週2行っている学校独自の取り組み「全カタイム」もあり、遊ぶ時間そのものが少ない。来年度の実施の仕方を考えていきたい。
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

祝町小学校独自の取り組み「祝っ子全カタイム」を行う。健康委員会主体で活動しており、週に2回(火・木曜日)5～10分程度の運動を行っている。内容は、「体力テストの動き(50m走・ソフトボール投げ等の動きの練習)」「持久走」「キッズダンス」などを行う。 しかし、上記にも書いているが、小規模校なので、委員会活動等で休み時間、外で遊べない児童が多い中、週2の全カタイムも児童にとって負担だと感じたようだった。来年度の実施の仕方を考えていきたい。
--